



ぎょうだ 蔵めぐり まちあるき

まちあるき

「千定イベント」ボンネットバス運行・
人力車体験・和楽器演奏他、セリーフラ
イ販売・アイヌ販売・クッキーマー販売・
手打ち蕎麦・セリーフライの販売・藍
染体験・メガ足袋はいて写真撮ろう・
オリジナルこぼせ作り・手作り品展
示販売・昔遊び体験・足袋の製造実
演販売・ものづくり大学作品展示・
本心会人形展・スライド映写等・手
打ち蕎麦販売・蔵出しグッズ販売・
菓子販売・パン販売・足袋の展示販
売…その他お楽しみがいっぱい



第13回

2017
5/20(土) 21(日)
am10:00~pm16:00 (最終日は15:30 終了)

足袋屋横町あらわる?

当日着物でご参加の方

- 参加無料!
- MY 足袋づくり体験
千円割引券プレゼント!



藍染め足袋デザインコンテスト2016
グランプリ作品
作者: AKI さん (行田市)

受付場所: 足袋蔵まちづくりミュージアム
(埼玉縣信用金庫裏手: 埼玉県行田市行田 5-15)
参加券付マップ: 大人 200 円 / 小人 100 円
・「足袋とくらしの博物館」無料入館券
・「ボンネットバス」無料乗車券
・「藍染体験」100円割引券
主催: NPO 法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク 協賛: 行田商工会議所
お問合せ tel.048-552-1010 (ぎょうだ足袋蔵ネットワーク)



行田のまちへの交通ルート
 ■ 都内等から: JR 湘南新宿ライン又は上野東京ライン高崎線 行田駅→市内循環バス (観光拠点循環コース) [商工センター] 又は [行田市駅前] 下車
 ■ 同上 JR 湘南新宿ライン又は上野東京ライン高崎線 吹上駅→朝日バス [商工センター前] [新町1丁目] 下車 ■ 新幹線・JR 高崎線熊谷駅→秩父線行田市駅下車

ぎょうだ蔵めぐりまちあるき

今年 13 回目を迎えるスタンプラリーイベントです

行田市は江戸後期～昭和中期にかけ足袋の生産で栄えた街です。

私たちはその頃の名残として今も街なかに点在する主に「足袋蔵」を保存して活かそうという活動をしています。よく見るとあんな所にもこんな所にも足袋蔵が…

スタンプラリーをしつつ、みなさんも一緒に町の再発見を楽しみましょう！



着物で参加すると
参加費無料！

毎年 5 月、
第 3 土日開催です

★足袋やその材料を保管していた蔵だから「足袋蔵」と呼んでいます。

1 意外とあるよ！身近な蔵

いつもは車や自転車でビューンと通るあの道、この道…。のんびり歩いてみると見逃していた景色に気づいたり、気になっていた場所に入りやすくなったり。

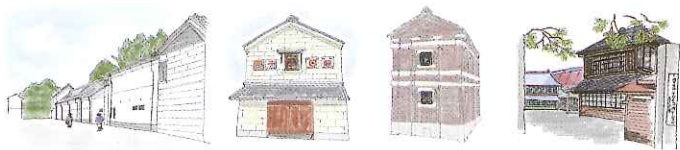
普段からお店として営業している蔵や趣のある建物は歴史を身近に感じさせてくれます。



ほかにも趣のある
建物のお店があります。
見つけてみましょう！

2 いつもは入れない！ 個人蔵 OPEN

スタンプラリーの 2 日間だけ特別に中に入って見学出来る蔵などがいくつかあります。ぜひ蔵の中を見学してみましょう。



3 この日だけ！ レトロなバスに乗ろう

スタンプラリーに参加すると

スタンプラリーに参加するとレトロなボンネットバスの乗車券が付いてきます。バスで市内をぐるっと周遊しませんか？

※当日乗車前にあらかじめ乗車券を整理券へ引き換えてください。



4 足袋とくらしの博物館 入場無料！

スタンプラリーに参加すると

元足袋工場の姿をそのまま残した博物館で足袋職人さんの実演とお話をお楽しみください。

★さらに着物でご参加の方は好きな生地を選んで作る My 足袋づくり体験が 1000 円引きになります！



5 藍染体験料または藍染品購入額 1000 円以上のかたは 牧禎舎 藍染体験 100 円引！

スタンプラリーに参加すると

藍染体験料または藍染品購入額 1000 円以上のかたは

牧禎舎では江戸時代から大正時代にかけて盛んだった武州・行田の藍染めを気軽に体験できます。

※持ち込みの場合、染められないものもありますので事前にお問い合わせください。

※毎週日曜日開館。5/21 臨時 OPEN。



今年は、新町通りに蔵が一軒スタンプラリーに加わります。(外観見学のみ予定)

また足袋屋さんだった「牧野本店」が改修工事を経て、初めて蔵めぐりに参加します！これからの牧野本店にもご期待！